

令和7年度

教育計画



石垣市立教育支援センター
「あやぱに学級」

所在地:石垣市字登野城153番地 (登野城公民館2階)

TEL&FAX: (0980) 83-6388

E-mail : ayapani@ishigaki.ed.jp

も く じ

I 概要

1	沿革	1
2	趣旨	4
3	開級目的	4
4	入級対象	4
5	場所	4
6	担当職員	4
7	開級期間	4
8	指導・援助の特質	5
9	組織	5
10	運営方針	6
11	入級の手順と学校適応へのプロセス	7

II 石垣市立教育支援センター「あやばに学級」の経営

1	学級経営目標	8
2	めざす子ども像	8
3	経営方針	8
4	家庭・原籍校・石垣市教育支援センターの役割と連携	8
5	日課表	9
6	主な活動内容（例）	10
7	教室環境	10
8	主な行事・年間活動計画	11
9	職員の構成	12
10	学級事務・事務分掌	12
11	「ことばの日」実施計画	13
12	学校生活に適応するまでの支援	14
13	年間計画	15

資料

【資料1】	石垣市立教育支援センター設置規則	19
【資料2】	石垣市不登校児童生徒支援機関申請等の手続きに関する要綱	21
【資料3】	各種申請様式・資料等（QRコード）	23
	体験通級通所申請書（様式第1号）	24
	児童・生徒の概要（様式第2号）	25
	通級通所申請書兼同意書（様式第3号）	27
	通級通所学校意見書（様式第4号）	28
	通級通所決定通知書（様式第5号）	29
	通級通所終結通知書（様式第6号）	30

1 沿革

【平成5年度】

平成 6年2月 4日 石垣市立適応指導教室設置規則制定
 平成 6年2月28日 第1回適応指導教室運営協力委員会
 平成 6年3月 8日 第2回適応指導教室運営委員会
 平成 6年3月29日 第3回適応指導教室運営委員会
 「あやばに学級」と命名（命名者 石垣第二中 新田健夫 教諭）

【平成6年度】

平成 6年4月 1日 石垣市立適応指導教室「あやばに学級」開設
 適応指導教室特別研究員 慶田盛邦子教諭 発令
 適応指導教室指導員 内原勇 崎山光子

【平成7年度】

平成 7年4月 1日 適応指導教室特別研究員 慶田盛邦子教諭 継続
 適応指導教室指導員 内原勇 崎山光子

【平成8年度】

平成 8年4月 1日 適応指導教室特別研究員 慶田盛邦子教諭 継続
 適応指導教室指導員 前津栄信 崎山光子

【平成9年度】

平成 9年4月 1日 適応指導教室特別研究員 大田綾子教諭 発令
 適応指導教室指導員 前津栄信 崎山光子

【平成10年度】

平成10年4月 1日 適応指導教室特別研究員 大田綾子教諭 継続
 適応指導教室指導員 宮良祐成 島袋亮子
 平成11年2月23日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成11年度】

平成11年4月 1日 適応指導教室特別研究員 安次嶺絹枝教諭 発令
 適応指導教室指導員 島袋亮子 黒川庶
 平成11年9月 1日 適応指導教室指導員 大仲國夫 瀬名波玲子
 平成12年2月23日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成12年度】

平成12年4月 1日 適応指導教室特別研究員 加勢本京子教諭 発令
 適応指導教室指導員 大仲國夫 加原玲子
 平成13年3月 6日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成13年度】

平成13年4月 1日 適応指導教室特別研究員 宇根悦子教諭 発令
 適応指導教室指導員 本仲勉 加原玲子
 平成14年2月22日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成14年度】

平成14年4月 1日 適応指導教室特別研究員 宇根悦子教諭 継続
 適応指導教室指導員 本仲勉 盛山明香
 平成15年2月19日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成15年度】

平成15年4月 1日 適応指導教室特別研究員 西銘初江教諭 発令
 適応指導教室指導員 玻座真武 盛山明香
 平成16年2月18日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成16年度】

平成16年4月 1日 適応指導教室特別研究員 西銘初江教諭 継続
 適応指導教室指導員 砂川忠寛 與那國貴子
 平成17年2月23日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成17年度】

平成17年4月 1日 適応指導教室特別研究員 西銘初江教諭 継続
 適応指導教室指導員 屋良律子 新崎尚武
 平成18年2月22日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成18年度】

平成18年4月 1日 適応指導教室特別研究員 徳山明美教諭 発令
適応指導教室指導員 屋良律子 米城奏
平成19年2月27日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成19年度】

平成19年4月 1日 適応指導教室特別研究員 徳山明美教諭 継続
適応指導教室指導員 屋良律子 梶原慎太郎
平成20年2月27日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会及び講演会
講師 上級カウンセラー 新里恒彦

【平成20年度】

平成20年4月 1日 適応指導教室特別研究員 平安山誠教諭 発令
適応指導教室指導員 屋良 律子 梶原慎太郎
平成21年2月27日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会及び講演会
【講演】不登校等問題を抱える児童生徒を如何に立ち直らせるか
講師 岸田カウンセリング研究所 所長 岸田博

【平成21年度】

平成21年5月22日 適応指導教室特別研究員 平安山誠教諭 継続
適応指導教室指導員 屋良律子 梶原慎太郎
平成22年2月25日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会及び講演会
【講演】「子どもと大人のためのストレスマネジメント」
講師 関西福祉科学大学 教授 大野太郎

【平成22年度】

平成22年4月 1日 適応指導教室特別研究員 保里京子教諭 発令
適応指導教室指導員 屋良律子 崎田尚孝
平成23年2月25日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成23年度】

平成23年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 新城寅生 発令
適応指導教室特別研究員 保里京子教諭 継続
適応指導教室指導員 大盛陽一郎 宮良郁恵
平成24年2月16日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成24年度】

平成24年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 新城寅生 継続
適応指導教室特別研究員 新本真理子教諭 発令
適応指導教室指導員 宮城ひとみ 新崎拳
平成25年2月16日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成25年度】

平成25年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 田本由美子 発令
適応指導教室特別研究員 兼松良明教諭 発令
適応指導教室指導員 前花雄介 竹内梢
平成26年2月25日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成26年度】

平成26年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 田本由美子 継続
適応指導教室特別研究員 大城亜美教諭 発令
適応指導教室指導員 前花雄介 竹内梢
平成27年2月10日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成27年度】

平成27年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 宜野座安夫 発令
適応指導教室特別研究員 上原邦夫教諭 発令
適応指導教室指導員 保里京子 西里洋樹
平成28年2月18日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成28年度】

平成28年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 宜野座安夫（委嘱） 発令
適応指導教室特別研究員 與那國充子 発令
適応指導教室指導員 寄合洋且 池田碧
平成29年2月16日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会並びに適応指導関係者報告会
（担任）照屋寛文（小中アシスト相談員）田福雄市（教育相談）前底さゆり

【平成29年度】

平成29年4月 1日	石垣市立教育研究所所長	仲田森和（委嘱）	発令
	適応指導教室特別研究員	小野寺紀子	発令
	適応指導教室指導員	寄合洋且 松井真里子	
7月 1日	石垣市立教育研究所所長	仲田森和	退職
8月 1日	石垣市立教育研究所所長	南 和秀（委嘱）	発令
平成30年2月20日	適応指導教室「あやばに学級」実践報告会 関係機関報告：（青少年センター係長）石垣司・ （小中アシスト相談員）與那國貴子		

【平成30年度】

平成30年4月 1日	石垣市立教育研究所所長	南 和秀（委嘱）	発令
	適応指導教室特別研究員	平田 律子	発令
	適応指導教室指導員	寄合洋且	
8月 31日	適応指導教室指導員	寄合洋且	退職
9月 1日	適応指導教室指導員	平良未衣菜	
10月 22日	適応指導教室指導員	東嘉弥真美久	
平成31年2月19日	適応指導教室「あやばに学級」実践報告会 関係機関報告：（青少年センター係長）石垣司・ （臨床心理士）與那城杉子		

【平成31年度（令和元年度）】

平成31年4月 1日	石垣市立教育研究所所長	大濱 民江	発令
	適応指導教室特別研究員	大城 朝義	発令
	適応指導教室指導員	平良未衣菜 東嘉弥真美久	
令和 2年2月18日	適応指導教室「あやばに学級」実践報告会 関係機関報告：（八重山警察署）大石根司 （臨床心理士）與那城杉子		

【令和2年度】

令和 2年4月 1日	石垣市立教育研究所所長	大濱 民江	発令
	適応指導教室特別研究員	宮城 貴美	発令
	適応指導教室指導員	平良未衣菜 太田 裕也	
10月 12日	サポートスタッフ	当銘 清美	
令和 3年2月22日	適応指導教室「あやばに学級」実践報告会		

【令和3年度】

令和 3年4月 1日	石垣市立教育研究所所長	大濱 民江	発令
	適応指導教室特別研究員	神山 綾香	発令
	適応指導教室指導員	上原まどか 東嘉弥真美久	
令和 4年2月21日	適応指導教室「あやばに学級」実践報告会		

【令和4年度】

令和 4年 4月 1日	石垣市立教育研究所所長	西原 貴和子	発令
	適応指導教室特別研究員	浅井 みさ乃	発令
	適応指導教室指導員	上原 まどか 富永 由衣	
令和 5年 3月 16日	適応指導教室「あやばに学級」実践報告会		

【令和5年度】

令和 5年 4月 1日	石垣市立教育研究所所長	西原貴和子	発令
	適応指導教室特別研究員	金城 綾乃	発令
	適応指導教室指導員	東大嶺由衣 儀間 奈央	

【令和6年度】

令和 6年 4月 1日	石垣市立教育研究所所長	西原貴和子	発令
	適応指導教室特別研究員	宮良 弥生	発令
	適応指導教室指導員	東大嶺由衣 宇根 りち	

【令和7年度】

令和7年4月1日	石垣市立教育研究所所長	友利始夫	発令
	教育支援センター特別研究員	加原 玲子	発令
	教育支援センター指導員	松竹 麻衣子	

2 趣 旨

石垣市の不登校児童生徒の学校適応を促進し学校への復帰を含めた社会的な自立ができるように支援するため、教育支援センターを設置する。

3 開級目的

不登校の児童生徒に対し、自立の心を高め、社会性を身につけさせるための指導援助を行うことで学校適応を図ることを目的とする。

4 入級対象

支援の対象は、心理的要因等によって登校できない石垣市内の小・中学校在籍の児童生徒で、次に示す状態がいくつか見られる者のうち、石垣市教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が通級を決定した者とする。

- (1) 学校復帰を目指し「あやばに学級」に通う意思を持っている。
- (2) 学校生活に対して過敏・拒否反応がある。
- (3) 生活全般において無気力及び消極的な態度が見られる。
- (4) 精神的な疾患がなく、専門家の治療や支援を必要とせず、怠学傾向がない。

5 場 所

〒907-0004 石垣市字登野城153番地（登野城公民館2階）

電話(0980) 83-6388(FAX 兼用) E-mail: ayapani@ishigaki.ed.jp

HP <http://ishigaki.ed.jp/ayapani/>

6 担当職員

○学級担任:加原 玲子（指導教諭） ○指導員:松竹 麻衣子

7 開級期間

石垣市立小・中学校の授業日に準ずるが、学年始め及び学年終わりは3週間程度の学校適応期間をおく。

8 指導・援助の特質

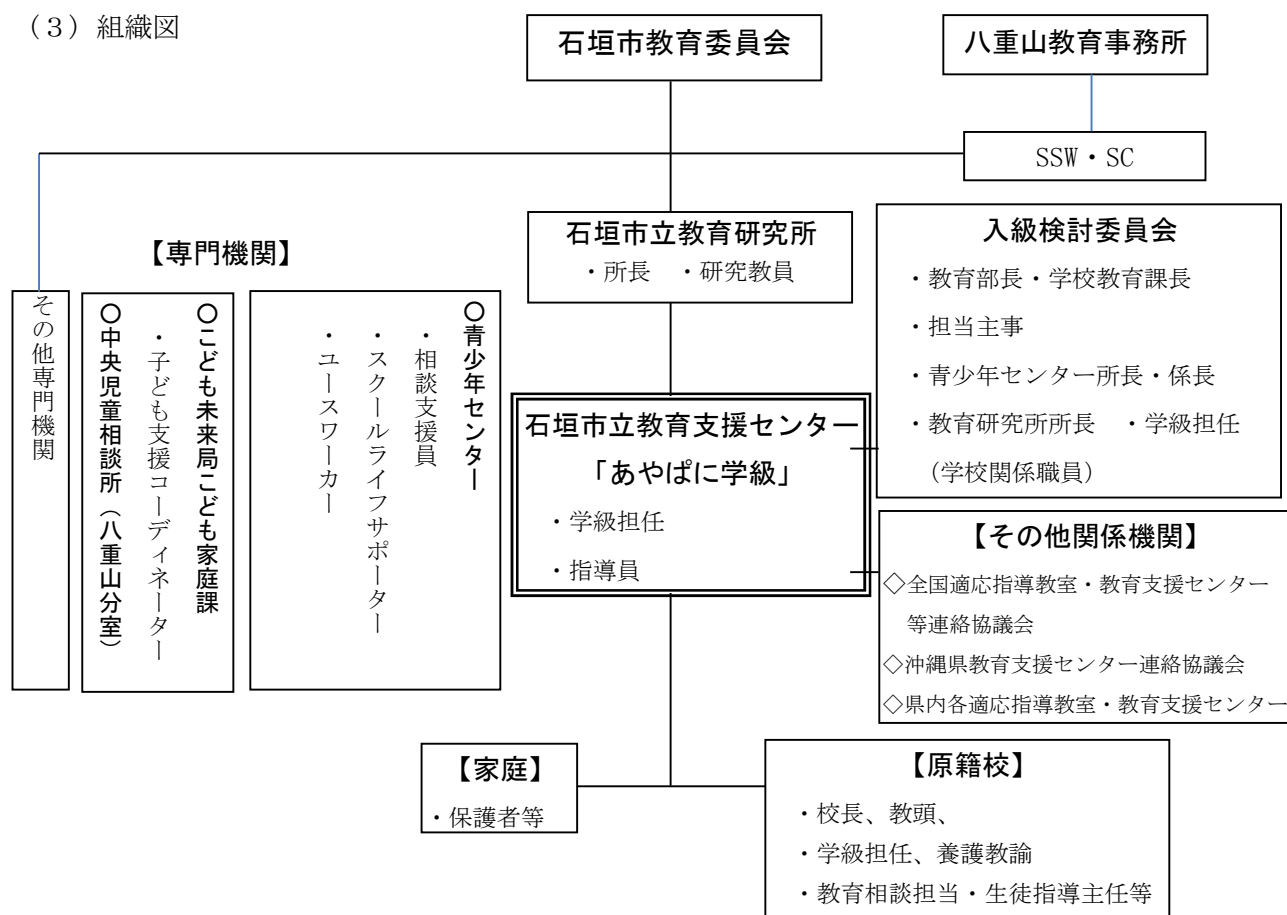
居場所づくり	○ありのままに受容することと、共感することにより信頼関係を築く。 ○安心して過ごせる場とする。
基本的生活習慣の確立	○保護者と連携し、基本的な生活（家族との食事等）の習慣化を促し、学校復帰に向けた生活リズムを確立する。 ○運動、体力、栄養、睡眠等に気をつけ、健康的な心身を育む活動を行う場とする。
自然体験活動	○豊かな自然環境の中で心を開放する心地よさを味わわせる。 ○人とのふれあいを広げる場とする。 ○たくましさやチャレンジ精神を養う場とする。
学習活動	○個に応じた学習を進める場とする。 ○自主的、自発的な学習意欲を尊重する場とする。
生活空間の広がり	○社会見学や施設めぐり等の級外活動で、教室内では得がたい貴重な体験を通し社会性を育む場とする。
人とのかかわり	○様々な活動を通して、仲間意識や集団適応能力を高める場とする。 ○関係機関との協力と連携により、様々な人との出会いの場を提供する。

9 組織

- (1) 石垣市教育委員会、石垣市立教育研究所が主管となって本事業を推進する。
- (2) 教育支援センターへの入級は石垣市教育委員会内に「石垣市立教育支援センター入級及び青少年センター通所等検討委員会」を組織し、教育支援センターへの入級等について調査審議し、決定する。

その検討委員会は、教育部長、学校教育課長、いきいき学び課青少年センター所長、石垣市立教育研究所所長、青少年センター青少年係長及び学校教育課担当指導主事、学級担任の職にあるものがあたる。

(3) 組織図



10 運営方針

(1) 担当教諭と指導員との協働

- ① 適宜話し合いを持ち、共通理解を図る。
- ② 学校教育課（担当指導主事）及び教育研究所（所長）と所内研修等で共通理解を図る。

(2) 学校との連携指導

- ① 学校訪問による学校長・教育相談担当・生徒指導主任・学級担任等との懇談会を実施し、学校の不登校児童生徒の実態把握に努める。
- ② 原籍校の校内支援会議に参加し（学期1回程度）、情報交換及び適応指導についての共通理解に努める。
- ③ 原籍校学級担任や教育相談担当・生徒指導主任等の来級による、児童生徒との関係づくりに努める。
- ④ 毎月初めに原籍校へ出席状況や学級での様子を報告し、児童生徒の状況と支援方法について共通理解を深める。

(3) 家庭との連携指導

- ① 随時連携をとり、児童生徒の支援が円滑にできるように努める。
- ② 必要に応じて保護者会を持ち、理解と協力を得る。
- ③ 関係機関へ教育相談や研修会への参加を呼びかける。
- ④ 学級通信や電話連絡等により保護者との望ましい人間関係づくりに努める。
- ⑤ 児童生徒の実態に応じて、親子で触れ合える機会を設定する。

11 入級の手順と学校適応へのプロセス

